

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：バイオデザインメソッドによるアントレプレナー型若手医療機器研究者の開発サポート
2. 研究開発代表者氏名（所属）：小野 稔（東京大学）

【評価（公開）】

事業計画に基づき、若手研究者に対する教育プログラムならびにマッチングイベントを実施し、研究開発をサポートし、事業化に向けた支援を実施した。若手研究者からの報告において、教育プログラムならびにマッチングイベントにおける支援の効果が窺えることから、本事業は医療機器開発における若手研究者の育成に貢献したと評価する。事業で構築してきたバイオデザインメソッドによる人材育成や伴走支援のノウハウと今後の活動による日本発の新規医療機器の創出に期待したい。

以上